




Dell EMC PowerEdge FC640

仕様詳細

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2017 - 2020 Dell Inc. またはその関連会社。。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 Dell EMC PowerEdge FC640 システムの概要	4
2 技術仕様	5
システムの寸法.....	5
システムの重量.....	5
プロセッサの仕様.....	5
対応オペレーティングシステム.....	5
システムバッテリーの仕様.....	6
メモリの仕様.....	6
メザニンカードの仕様.....	6
ストレージコントローラの仕様.....	6
ドライブの仕様.....	6
ハードドライブ.....	6
ポートおよびコネクタの仕様.....	7
USB ポート.....	7
内蔵デュアル SD モジュール.....	7
microSD vFlash コネクタ.....	7
ビデオの仕様.....	7
環境仕様.....	7
粒子状およびガス状汚染物質の仕様.....	8
標準動作温度.....	9
動作時の拡張温度.....	9
温度に関する制限のマトリックス.....	10
3 マニュアルリソース	12
4 困ったときは	14
Dell EMC へのお問い合わせ.....	14
マニュアルのフィードバック.....	14
QRL によるシステム情報へのアクセス.....	14
PowerEdge FC640 システム用 Quick Resource Locator.....	15
SupportAssist による自動サポートの利用.....	15
リサイクルまたはサービス終了の情報.....	15

Dell EMC PowerEdge FC640 システムの概要

PowerEdge FC640 は、PowerEdge FX2/FX2s エンクロージャ上でサポートされるハーフハイト スレッドで、次をサポートします。

- ・ インテル Xeon Scalable プロセッサ 2 基
- ・ 2 台の 2.5 インチ ハード ドライブまたは SSD。
- ・ DIMM スロット × 16

メモ: この文書では、**SAS**、**SATA** ハード ドライブ、**SSD** のすべてのインスタンスは、特に指定のない限り、ドライブと呼ばれます。

システムの寸法

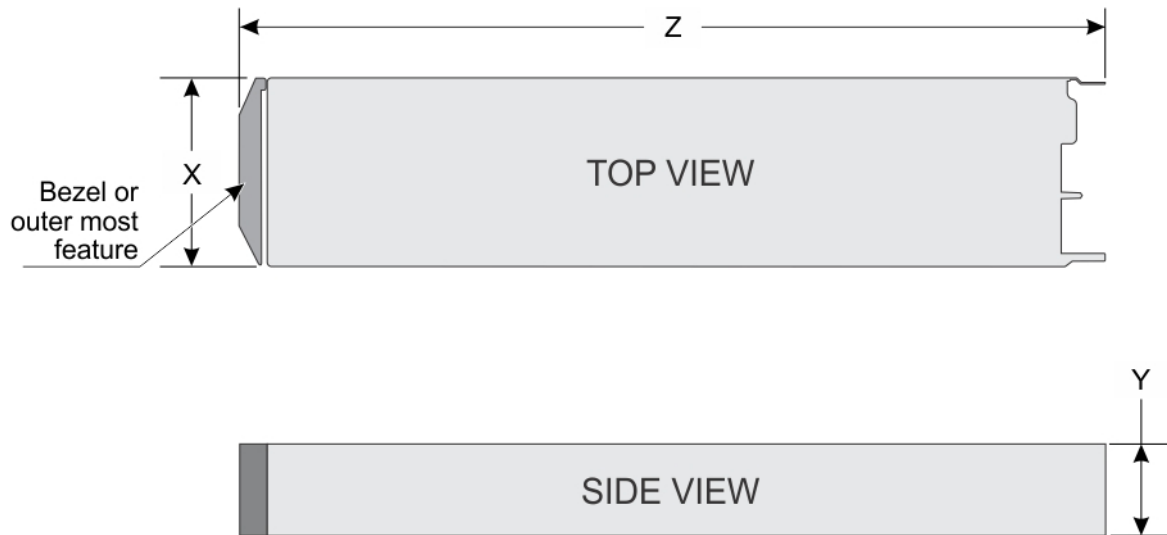


図 1. システムの寸法

表 1. Dell EMC PowerEdge FC640 システムのシステム寸法

システム	X	はい	Z (ハンドルを閉じた状態)
Dell EMC PowerEdge FC640	211.0 mm (8.3 インチ)	40.25 mm (1.58 インチ)	535.75 mm (21.09 インチ)

システムの重量

表 2. Dell EMC PowerEdge FC640 システムの重量

システム	最大重量
2 x 2.5 インチ ドライブ	5.8 kg (12.79 ポンド)

プロセッサの仕様

Dell EMC PowerEdge FC640 システムは、プロセッサごとに最大 28 コアを使用する最大 2 個のインテル Xeon Scalable プロセッサをサポートします。

対応オペレーティングシステム

PowerEdge Fc640 は、次のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Canonical Ubuntu Server LTS
- Citrix XenServer
- Microsoft Windows Server
- Microsoft Windows Server with Hyper-V
- Red Hat Enterprise Linux

- ・ SUSE Linux Enterprise Server
- ・ VMware vSphere
- ・ VMware ESXi

i **メモ:** 特定のバージョンおよび追加の詳細については、<https://www.dell.com/support/home/Drivers/SupportedOS/poweredge-fc640> を参照してください。

システムバッテリーの仕様

Dell EMC PowerEdge FC640 システムは、CR 2032 3.0 V コイン型リチウム電池システム バッテリーをサポートします。

メモリの仕様

表 3. メモリの仕様

メモリモジュールソケット	DIMM のタイプ	DIMM のランク	DIMM の容量	シングルプロセッサ		デュアル プロセッサ	
				最小 RAM	最大 RAM	最小 RAM	最大 RAM
288 ピン (16)	LRDIMM	オクタランク	128 GB	128 GB	1024 GB	256 GB	2048 GB
		クアドランク	64 GB	64 GB	512 GB	128 GB	1024 GB
	RDIMM	シングルランク	8 GB	8 GB	64 GB	16 GB	128 GB
		デュアルランク	16 GB	16 GB	128 GB	32 GB	256 GB
		デュアルランク	32 GB	32 GB	256 GB	64 GB	512 GB
		デュアルランク	64 GB	64 GB	512 GB	128 GB	1024 GB

メザニンカードの仕様

Dell EMC PowerEdge FC640 システムは、デュアルポート 10 Gb Ethernet、クアドポート 1Gb、FC8 ファイバチャネル、FC16 ファイバチャネル、または Infiniband メザニンカード対応の PCIe x8 Gen 3 スロット メザニンカードを 2 枚サポートします。

ストレージコントローラの仕様

Dell EMC PowerEdge FC640 システムは次をサポートしています。

内蔵コントローラー: ソフトウェア RAID S140、PERC9 H330、H730P

起動最適化ストレージサブシステム:

- ・ HWRAID 2 x M.2 SSD 120 GB、240 GB
- ・ 内蔵デュアル SD モジュール (オプション)

ドライブの仕様

ハードドライブ

Dell EMC PowerEdge FC640 システムは、最大 2 台の 2.5 インチ SAS または SATA ハードドライブまたは PCIe SSD をサポートします。ハードドライブまたは SSD は、ドライブベイに収まるホットスワップ対応ドライブキャリアに搭載されており、これらのドライブはドライブバックプレーンからシステム基板に接続します。

ポートおよびコネクタの仕様

USB ポート

Dell EMC PowerEdge FC640 システムは次をサポートします。

- ・ システム前面の USB 3.0 対応ポート 1 個
- ・ システム前面のマイクロ USB/iDRAC ダイレクト USB 2.0 対応ポート 1 個
- ・ USB 3.0 対応内蔵ポート 1 個

メモ: システム前面のマイクロ USB2.0 対応ポートは、iDRAC ダイレクトまたは管理ポートとしてのみ使用することができます。

内蔵デュアル SD モジュール

Dell EMC PowerEdge FC640 システムは、ハイパーバイザー用に 2 枚の内蔵 microSD カードをサポートします。このカードには次の機能があります。

- ・ デュアルカード動作 — 両方のスロットで microSD カードを使用することによってミラーリング構成を維持し、冗長性を提供します。
- ・ シングルカード動作 — シングルカード動作はサポートされますが、冗長性は提供されません。

メモ: 片方の IDSDM カード スロットは冗長専用です。IDSDM/microSD vFlash が設定されているシステムに関連付けられた、デルブランドの microSD カードの使用を推奨します。

microSD vFlash コネクタ

Dell EMC PowerEdge FC640 システムは、vFlash サポート用に 1 枚の microSD カードをサポートします。

ビデオの仕様

表 4. ビデオの仕様

機能	仕様
ビデオのタイプ	Matrox G200 グラフィック コントローラー (iDRAC に統合)
ビデオメモリ	4 GB DDR4 (iDRAC アプリケーション メモリと共有)

環境仕様

メモ:

表 5. 温度の仕様

温度	仕様
ストレージ	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
継続動作 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F)、装置への直射日光なし。
最大温度勾配 (動作時および保管時)	20°C/h (68°F/h)

表 6. 相対湿度の仕様

相対湿度	仕様
ストレージ	最大露点 33 °C (91 °F) で 5 ~ 95 % の相対湿度。空気は常に非結露状態であること。
動作時	最大露点 26 °C (78.8 °F) で 10 ~ 80 % の相対湿度。

表 7. 最大振動の仕様

最大耐久震度	仕様
動作時	0.26 G _{rms} (5 ~ 350 Hz) (全稼働方向)。
ストレージ	1.87 G _{rms} (10 ~ 500 Hz) で 15 分間 (全 6 面で検証済)。

表 8. 最大衝撃の仕様

最大耐久衝撃	仕様
動作時	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス、11 ミリ秒以下で 6 G。
ストレージ	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 71 G。

表 9. 最大高度の仕様

最大高度	仕様
動作時	3048 m (10,000 ft)
ストレージ	12,000 m (39,370 フィート)

表 10. 動作時温度ディレーティングの仕様

動作時温度ディレーティング	仕様
最高 35 °C (95 °F)	950 m (3117 フィート) を越える高度では、最高温度は 300 m (547 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。
35 ~ 40 °C (95 ~ 104 °F)	950 m (3117 フィート) を越える高度では、最高温度は 175 m (319 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。
40 ~ 45 °C (104 ~ 113 °F)	950 m (3117 フィート) を越える高度では、最高温度は 125 m (228 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。

粒子状およびガス状汚染物質の仕様

次の表は、粒子汚染およびガス汚染による装置の損傷または故障を避けるために役立つ制限を定義しています。粒子汚染またはガス汚染のレベルが指定された制限を超過し、機器の損傷または故障に至る場合、環境条件を改良する必要があります。環境状態の改善は、お客様の責任となります。

表 11. 粒子状汚染物質の仕様

粒子汚染	仕様
空気清浄	<p>データセンターの空気清浄レベルは、ISO 14644-1 の ISO クラス 8 の定義に準じて、95% 上限信頼限界です。</p> <p>① メモ: この条件は、データセンター環境にのみ適用されます。空気清浄要件は、事務所や工場現場などのデータセンター外での使用のために設計された IT 装置には適用されません。</p> <p>① メモ: データセンターに吸入される空気は、MERV11 または MERV13 フィルタで濾過する必要があります。</p>
伝導性ダスト	<p>空気中に伝導性ダスト、亜鉛ウイスカ、またはその他伝導性粒子が存在しないようにする必要があります。</p> <p>① メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。</p>
腐食性ダスト	<ul style="list-style-type: none"> 空気中に腐食性ダストが存在しないようにする必要があります。 空気中の残留ダストは、潮解点が相対湿度 60% 未満である必要があります。 <p>① メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。</p>

表 12. ガス状汚染物質の仕様

ガス状汚染物	仕様
銅クーポン腐食度	クラス G1 (ANSI/ISA71.04-1985 の定義による) に準じ、ひと月あたり 300 Å 未満。
銀クーポン腐食度	AHSRAE TC9.9 の定義に準じ、ひと月あたり 200 Å 未満。

① **メモ:** 50% 以下の相対湿度で測定された最大腐食汚染レベル

標準動作温度

表 13. 動作時の標準温度の仕様

標準動作温度	仕様
継続動作 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10°C ~ 35°C (50°F ~ 95°F)、装置への直射日光なし。
相対湿度範囲	最大露点 26 °C (78.8 °F) で 10 ~ 80 % の相対湿度。

動作時の拡張温度

表 14. 動作時の拡張温度の仕様

動作時の拡張温度	仕様
継続動作	<p>相対湿度 5 ~ 85%、露点温度 29°C (84.2°F) で、5 ~ 40°C。</p> <p>① メモ: 標準動作温度 (10 ~ 35°C) の範囲外では、下は 5°C まで、上は 40°C までで、システムは継続的に動作できます。</p> <p>35 ~ 40 °C の場合、950 m を超える場所では 175 m 上昇することに最大許容乾球温度を 1°C 下げます (1°F ごとに 319 フィート)。</p>
年間動作時間の 1% 以下	<p>相対湿度 5 ~ 90 パーセント、露点温度 29°C で、-5 ~ 45°C。</p> <p>① メモ: 標準動作温度範囲 (10 ~ 35°C) 外で使用する場合は、最大年間動作時間の最大 1% まで -5 ~ 45°C の範囲で動作することができます。</p> <p>40 ~ 45°C の場合、950 m を超える場所では 125 m (228 フィート) 上昇することに最大許容温度を 1°C (1°F) 下げます。</p>

① **メモ:** 動作時の拡張温度範囲で使用すると、システムのパフォーマンスに影響が生じる場合があります。

① **メモ:** 拡張温度範囲でシステムを使用している際に、LCD パネルとシステムイベントログに周囲温度の警告が報告される場合があります。

動作時の拡張温度範囲に関する制限

FC640 システムの拡張動作温度の制限を以下に示します。

- ・ 5°C 未満でコールドブートを行わないでください。
- ・ 動作温度は最大高度 3048 m (10,000 フィート) を想定しています。
- ・ NVME ドライブはサポートされません。
- ・ AEP DIMM はサポートされません。
- ・ 105 W/4 C、115 W/6 C、130 W/8 C、140 W/14 C およびそれ以上のワット数のプロセッサ (TDP > 140 W) はサポートされません。
- ・ 85 W 以上の NEBS SKU のプロセッサはサポートされません。
- ・ デルで検証されていない 25 W を超える周辺機器カードおよび/または周辺機器カードはサポートされません。

温度に関する制限のマトリックス

表 15. 温度に関する制限のマトリックス

プロセッサの 温度設計電力 (TDP)	コア数	プロセッサ	周囲温度制限		
			M1000e	VRTX	FX2
165 W	28/24	8276、8260、6212U、8260M、8276M	C35	C35	C35
165 W	28/26/18	8176、8170、6150	C35、DIMM 制限 1*	C35、DIMM 制限 1*	C35、DIMM 制限 1*
150 W	26/24/20	8164、8160、6148	C35	C35	C35
135 W	24	6262V	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
150 W	24/16/8	6252N	C30	C30	C30
165 W	28/24	6240R、6238R	C30	C35	C30
150 W	24/20/18/16	6248、6240、6242、6252、6210U、6240M	C35	C35	C35
165 W	12	6246	C30、DIMM 制限 1*	C30、DIMM 制限 1*	C30、DIMM 制限 1*
150 W	8	6244	C30、DIMM 制限 1*	C30、DIMM 制限 1*	C30、DIMM 制限 1*
140 W	22	6238/6238M	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
130 W	8	6234	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
125 W	20/16/4	6230N	C35	C35	C35
150 W	26/24/16	6230R、5220R、6226R	C30	C35	C30
115 W	20	6222V	C35	C35	C35
125 W	20/18/16/12	6209U、6230、5220S、5218、8253、6226、5220	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
150W	16	6208U	C30	C30	C30
150 W	16/12	6142、6136、8158	C35	C35	C35
140 W	22/18	6152、6140	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
125 W	20/16	6138、6130、8153	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
130 W	8	6134	C35	C35	C35
140 W	14	6132	C35	C35	C35
115 W	6	6128	C35	C35	C35
125 W	12	6126	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
105 W	4	5222、8256	C35	C35	C35
125 W	20	5218R	C40** E45***	C40** E45***	C35
110 W	16/12/4	5218N	C35	C35	C35
115 W	8	5217	C35	C35	C35
85 W	12/10/8/6	5215、4215、4214、4216、4214、4210、4208、3204、5215M、5215L、3206R	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
105 W	4	5122、8156	C30	C30	C30
105 W	14/12	5120、5118	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
100 W	24/16/10	4214R、4216、4210R	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
130 W	24	4215R	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
85 W	12/10/8/6/4	4116、5115、4114、4110、4108、3106、3104、4112	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***

プロセッサの温度設計電力 (TDP)	コア数	プロセッサ	周囲温度制限		
			M1000e	VRTX	FX2
150 W	24	8160T	C25、DIMM 制限 2*	C25、DIMM 制限 2*	C25、DIMM 制限 2*
125 W	20	6138T	C35	C35	C35
125 W	16	6130T	C35	C35	C35
125 W	12	6126T	C35	C35	C35
105 W	16	5218T	C30	C30	C30
105 W	14	5120T	C35	C35	C35
85 W	14	5119T	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
85 W	12	4116T	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
85 W	10	4114T	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
70 W	8	4109T	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***
85 W	8	3206R	C40** E45***	C40** E45***	C40** E45***

* DIMM 制限 1 – 最大 64 GB LRDIMM。128 GB でないこと、AEP (Apache Pass) なし。これは、デュアル プロセッサを搭載したシステムにのみ適用されます。

* DIMM 制限 2 – 最大 32 GB LRDIMM。128 GB/64 GB でないこと、AEP (Apache Pass) なし。これは、デュアル プロセッサを搭載したシステムにのみ適用されます。

* 特別な制限：ドライブなし、バックプレーンなし、PCIe なし、最大 64GB LRDIMM

**C は、特定の温度以下でプロセッサが継続して動作していることを示します。

***E はプロセッサに対して指定された拡張時の動作温度を示します。

マニュアルリソース

本項では、お使いのシステムのマニュアルリソースに関する情報を提供します。

マニュアル リソースの表に記載されているマニュアルを参照するには、次の手順を実行します。

- ・ Dell EMC サポート サイトにアクセスします。
 1. 表の「場所」列に記載されているマニュアルのリンクをクリックします。
 2. 目的の製品または製品バージョンをクリックします。
 - ① **メモ:** 製品名とモデルを確認する場合は、お使いのシステムの前面を調べてください。
 3. [製品サポート] ページで、マニュアルおよび文書をクリックします。
- ・ 検索エンジンを使用します。
 - ・ 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

表 16. お使いのシステムのためのその他マニュアルのリソース

タスク	文書	場所
システムのセットアップ	エンクロージャへのシステムの取り付けの詳細については、システムに同梱の『はじめに』マニュアルを参照してください。	
システムの設定	<p>iDRAC 機能、iDRAC の設定と iDRAC へのログイン、およびシステムのリモート管理についての情報は、『Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズ ガイド』を参照してください。</p> <p>RACADM (Remote Access Controller Admin) サブコマンドとサポートされている RACADM インターフェイスを理解するための情報については、『RACADM CLI Guide for iDRAC』を参照してください。</p> <p>Redfish およびそのプロトコル、サポートされているスキーマ、iDRAC に実装されている Redfish Eventing の詳細については、『Redfish API Guide』を参照してください。</p> <p>iDRAC プロパティ データベース グループとオブジェクトの記述の詳細については、『Attribute Registry Guide』を参照してください。</p>	
	<p>iDRAC ドキュメントの以前のバージョンの詳細については、iDRAC ドキュメントを参照してください。</p> <p>お使いのシステムで使用可能な iDRAC のバージョンを特定するには、iDRAC Web インターフェイスで ?、About の順にクリックします。</p>	
	オペレーティング システムのインストールについての情報は、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。	
	ドライバおよびファームウェアのアップデートについての情報は、本書の「ファームウェアとドライバをダウンロードする方法」の項を参照してください。	

タスク	文書	場所
システムの管理	デルが提供する Systems Management Software についての情報は、『Dell OpenManage Systems Management 概要ガイド』を参照してください。	
	OpenManage のセットアップ、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド』を参照してください。	
	Dell OpenManage Essentials のインストール、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Essentials ユーザーズガイド』を参照してください。	
	Dell OpenManage Enterprise のインストール、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Essentials ユーザーズガイド』を参照してください。	
	Dell SupportAssist のインストールおよび使用の詳細については、『Dell EMC SupportAssist Enterprise ユーザーズガイド』を参照してください。	
	パートナープログラムのエンタープライズシステム管理についての情報は、OpenManage Connections Enterprise Systems Management マニュアルを参照してください。	
	Dell Chassis Management Controller (CMC) を使用した、インベントリの表示、設定タスクとモニタリングタスクの実行、リモートでのサーバー電源のオン/オフ、およびサーバーとコンポーネント上のイベントに対するアラートの有効化についての情報は、『CMC User's Guide』(CMC ユーザーズガイド) を参照してください。	
Dell PowerEdge RAID コントローラの操作	Dell PowerEdge RAID コントローラ (PERC)、ソフトウェア RAID コントローラ、BOSS カードの機能を把握するための情報や、カードの導入に関する情報については、ストレージコントローラのマニュアルを参照してください。	
イベントおよびエラーメッセージの理解	システム ファームウェア、およびシステム コンポーネントをモニタリングするエージェントによって生成されたイベント メッセージとエラーメッセージの情報については、『Error Code Lookup』を参照してください。	
システムのトラブルシューティング	PowerEdge サーバーの問題を特定してトラブルシューティングを行うための情報については、『サーバトラブルシューティングガイド』を参照してください。	

困ったときは

トピック：

- ・ Dell EMC へのお問い合わせ
- ・ マニュアルのフィードバック
- ・ QRL によるシステム情報へのアクセス
- ・ SupportAssist による自動サポートの利用
- ・ リサイクルまたはサービス終了の情報

Dell EMC へのお問い合わせ

Dell EMC では、オンラインおよび電話によるサポートとサービス オプションをいくつかご用意しています。お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、または Dell EMC 製品カタログで連絡先をご確認ください。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell EMC のセールス、テクニカル サポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. にアクセスします。
2. お住まいの国を、ページ右下隅のドロップダウンメニューから選択します。
3. カスタマイズされたサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a) **Enter your Service Tag (サービスタグの入力)** フィールドに、お使いのシステムのサービスタグを入力します。
 - b) **送信** をクリックします。
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
4. 一般的なサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a) 製品カテゴリを選択します。
 - b) 製品セグメントを選択します。
 - c) お使いの製品を選択します。
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
5. Dell EMC グローバル テクニカル サポートへのお問い合わせ先の詳細については、次の手順に従います。
 - a) をクリックします。
 - b) [**テクニカル サポートへのお問い合わせ**] ページには、Dell EMC グローバル テクニカル サポート チームへの電話、チャット、または電子メール送信のための詳細が記載されています。

マニュアルのフィードバック

任意の Dell EMC マニュアル ページでマニュアルを評価、またはフィードバックを書き、[**フィードバックの送信**] をクリックしてフィードバックを送信することができます。

QRL によるシステム情報へのアクセス

FC640 の前面にある情報タグに記載されている Quick Resource Locator (QRL) を使用して、Dell EMC PowerEdge の FC640 に関する情報にアクセスできます。

お使いのスマートフォンまたはタブレットに QR コードスキャナがインストールされていることを確認します。

QRL には、お使いのシステムに関する次の情報が含まれています。

- ・ ハウツービデオ
- ・ インストールおよびサービス マニュアル、機械的概要などの参照資料
- ・ 特定のハードウェア構成および保証情報に簡単にアクセスするためのシステムのサービスタグ
- ・ テクニカルサポートや営業チームへのお問い合わせのためのデルへの直接的なリンク

1. にアクセスして、お使いの製品に移動する、または

2. システム上、または「クイックリソースロケータ」セクションで、お使いのスマートフォンまたはタブレットを使用してモデル固有のクイックリソース (QR) コードをスキャンします。

PowerEdge FC640 システム用 Quick Resource Locator



図 2. PowerEdge FC640 用 Quick Resource Locator

SupportAssist による自動サポートの利用

Dell EMC SupportAssist は、Dell EMC のサーバ、ストレージ、ネットワーク デバイスのテクニカル サポートを自動化するオプションの Dell EMC Services です。SupportAssist アプリケーションをインストールしてご利用の IT 環境にセットアップすると、次のようなメリットがあります。

- ・ **自動課題検知**—SupportAssist により、ご利用の Dell EMC デバイスを監視し、プロアクティブかつ予測的にハードウェアの課題を自動検知します。
- ・ **ケースの自動作成**— 課題が検知されると、SupportAssist によって Dell EMC テクニカル サポートへのサポート ケースが自動的に開きます。
- ・ **自動診断収集**— SupportAssist により、ご利用のデバイスからシステム状態に関する情報を自動的に収集し、Dell EMC に安全にアップロードします。この情報は、Dell EMC テクニカル サポートによる、課題のトラブルシューティングに使用されます。
- ・ **プロアクティブな連絡**— Dell EMC テクニカル サポート エージェントがサポート ケースについて連絡し、課題を解決するお手伝いをします。

使用可能なサービスは、お使いのデバイス用に購入した Dell EMC Service の利用資格に応じて異なります。SupportAssist の詳細については、を参照してください。

リサイクルまたはサービス終了の情報

特定の国では、この製品の引き取りおよびリサイクル サービスが提供されます。システム コンポーネントを廃棄する場合は、にアクセスし、該当する国を選択します。